

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援なかよしこくく		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月 25日		～ 令和7年 9月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	令和7年 8月 25日		～ 令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個性の高さと親子通所	遊びの中から5領域・感覚統合を軸に職員が1対1で向き合っ て療育し、親も子どもの様子を見て学べる。	環境調整を図りながら、個人を尊重し「楽しい」という声を 継続的に聞けるよう個々に合った療育を実施。
2	本人主体のセッション	本人の興味を第一に考え、本人の発想や展開を認め、ほめるこ と。感覚をスタート時点に入れること。	その時々によってスタッフが対応できる力量とセッションの 準備は予め早くから行うことなどを伝えている。
3	チームワーク・専門性の高さ	会議(ケース会議)を毎週行うこと。それぞれの職員が得意な ことを十分に発揮し、話し合いを大切にすること。	力量を獲得しながらチームワーク、協調性を大切にし報告・ 連絡・相談を行うこと。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日業務と送迎について	見学依頼の際に、土日祝を利用したい。送迎がないことで利用 者獲得には結びつかない点。	現状、今のスタンスで開所していく意向。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援なかよしこくく

公表日 2025年 10月 28日

利用児童数

10人

回収数

9人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7			2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9					
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2		2	5			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				スカートの下に何もはいていないように一見みえたこと インスタに載せる写真の撮り方に注意が必要
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			5	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援なかよくくっく

公表日 2025年 10月 28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		運動・遊びの活動が十分確保できている。	現状対応していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		法令に基づき適切に配置。専門職構成で根拠のある療育。	重要事項説明書等で周知してもらっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	安全第一でお子様に合わせて環境作りを実施	安全安心に主体的に動けるよう工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		机を拭いたり、除菌したり、トイレ・手洗い場を清潔にしている。	遊具等細かい物にも衛生的にしていこうところがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		クールダウン等に使用できる部屋などを提供している。	物を置いていることで咄嗟に使う時に狭くなる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		毎回セッション毎に話し合い、常に職員の意識を高めるよう努める。	現状対応していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		母子通所であるので日々の話の中で把握していくことができる。	現状対応していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		いつでも自ら話し出しやすい環境と皆で話し合える時間づくり。	もっと業務を簡素化する事で時間が作れると思われる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	実施はしていないが定期的な話し合いで設定を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		他事業所の研修に参加したりケースミーティングを行いスキルを上げる。	今後も続けていく予定。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		きちんと作成し、公表している。	今後も続けていく予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		保護者ニーズ、子どもの特性を適正に評価。アセスメントを重視。	今後も続けていく予定。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員全員が共有し、把握している。日々話し合う時間あり。	今後も続けていく予定。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別支援計画を共に理解。個別ファイルを必ず見るよう指導	今後も続けていく予定。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		聞き取ったアセスメントを元に観察的な行動も行っている。	今後も続けていく予定。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		保護者ニーズを踏まえて課題設定を行い、具体的な手立ての立案、記載を行っている。	現状対応していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		担当スタッフ（全職員）同士、ケースを振り返り、次のプログラムを立案している。	今後も続けていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		子どもの成長と変化と共にスタッフの評価結果をすり合わせている。	今以上に自己肯定感を高めていける内容を構築していく。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1時間に2人枠なので、必要に応じた計画を行っている。	現状対応していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	セッション終了後、必ず話し合い伝達することを重要視している。記録を丁寧に入力、読み取る事。	継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	振り返り伝達事項を必ず行い、児の変化や保護者との会話の内容を把握している。	継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	たくさん記録するよりも明確に専門用語を使うことも伝えている。	今後もレベルアップしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	定期的な問題点となることを抽出し、目標レベルの確認をする。	今後もレベルアップしていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	現状、児発管が参加。	今後は10年以上経験ある職員の参加も考えている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	毎月訪問し、お互いに連携を図り、支援の共有を認識している。	できる限り足を運んでいく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	保護者を通して間接的に希望があれば共有するよう努めている。	必ず行っているので継続していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	直接お会いしたり、電話でのやりとりを行っている。	継続していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		非該当	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		非該当	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		非該当	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	必要に応じてお受けしている。	今後必要な時に設けていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	令和7年より少しずつ活動している	今後必要な時に設けていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	親子通所の強みであるので日々実施している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	必要に応じて時間をかけて実施している。	フィードバック等、今後も重視していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	契約時、その時の必要に応じて伝えるようにしている。	フィードバック等、今後も重視していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	家族支援の中で意向確認を実施して最大限に捉えている。	継続していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	必ず面談の日のアポ取りを行い、説明し、同意印をいただいている。	継続していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	母子通所の強みとしてセッション中に相談室で話す場を設けている。	継続していく。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	実施なし	特に予定なし。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		すぐに対応するようスタッフ間で心掛けている（メモを残す、連絡を入れる）	児発管でなくてもスタッフが判断してもよい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		インスタやブログを通して発信している。	継続していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		持ち出しのよう徹底。子どもの前に置かない。裏に向けて置く。	継続していく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		節度のある対応、配慮を意識している。	継続していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		非該当	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		スタッフ周知はもちろん契約時に不十分さは残っている。	実施している時期や内容を伝える必要はあり。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		年に4回、BCP訓練、研修を行っている。	継続していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		契約時に記入してもらう。	継続していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時に記入してもらう。	継続していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		作成が不十分である。	今後取り組むこととする。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		契約時に伝達。	継続していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		必ず児発管に伝え、詳しく報告書を記載する。	継続していく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修を行っている。	継続していく。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		契約時、保護者に伝えている。	継続していく。	